

平成25年度「地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト」  
調査研究事業 採択案件一覧(商工会議所分)

No.	事業実施者 (都道府県)	実施概要
1	富良野商工会議所 (北海道)	【フラノ・マルシェPart2商品開発プロジェクト】 中心市街地の賑いの衰退、後継者難による商業者減少の克服、地域経済の底上げを行うため、民間活力で行う再開発事業で展開される商業施設を地域資源として位置づけ、地元素材を活用した商品作り、ブランドイメージの確立を行う。
2	黒石商工会議所 (青森県)	【電動アシスト自転車・徒歩による中南津軽広域観光可能性調査事業】 観光エリアを広域化することによって単体では求心力の低い観光コンテンツを補い合いながら観光価値を高めることを狙いとし、黒石市・平川市・田舎館村を繋ぐ中南津軽広域観光圏の形成を目指す。通過型から着地型の観光地へと転換を図る。
3	燕商工会議所 (新潟県)	【産学連携による食×流通の開発】 農商工連携事業の一環で産学連携した事業である。地域資源を利用し「燕」をブランディングした「新しい食素材の開発」をし、特産品としての商品開発をする。また、合わせて流通の研究調査を行う。
4	新井商工会議所 (新潟県)	【妙高ヘルスツーリズム(健康観光)調査研究事業】 自然豊かな妙高におけるヘルスツーリズムの可能性、市場とマッチした観光モデルルート開発・特産品開発の可能性を探るための調査研究をし、同時に参画事業所による「ヘルスツーリズム」へのメニュー提案を行う。
5	加茂商工会議所 (新潟県)	【産業と文化の集散地「市場町・加茂」のルーツをたどる調査研究事業】 船運が盛んだった江戸時代、市場町として栄えた加茂に全国各地から伝えられた産業や文化、風習を掘り起こし、誰にでも分かりやすくまとめ、市民レベルで地域資源の情報共有と市外客を受け入れる態勢づくり、新たな観光資源としての活用を研究する。
6	塩尻商工会議所 (長野県)	【～地域間連携による街道観光～ ゆっくり歩こう初期中山道】 ターゲット調査・歴史などの地域資源調査。
7	中野商工会議所 (長野県)	【豊富な水資源を活用した小水力発電システム開発事業】 地元の中小事業者の技術力の結集により、今求められている新エネルギー・省エネルギー施策を推進するため、独自に小水力発電システムを開発し、それを活用して新たな中野市の観光資源にするもの。
8	茅野商工会議所 (長野県)	【縄文のところで繋ぐ 地域の文化・自然・産業の再創造プロジェクト】 縄文時代から栄えたこの地の人々の底流にある「縄文のころ」を、現在の文化・自然・産業を切り口に再発見・再構築し、発信するための調査・研究。
9	鹿沼商工会議所 (栃木県)	【豊富な森林資源を活用した「適材適所」で新たなオフィス空間を提案】 鹿沼の豊富な森林資源その他の地域資源を活用し、木工および金属加工技術が融合した新たなデザインで従来の枠組みを超えた、新しいものづくりネットワークを構築する。
10	川越商工会議所 (埼玉県)	【伝統を未来へ紡ぐ! 川越唐棧Rebornプロジェクト】 江戸っ子を魅了した「川越唐棧」の魅力を再確認すると同時にさらなるブランド化を図るため、市場や新製品開発および新用途に係る調査研究を行う。加えて将来的に「川越唐棧」が地域の特産品として確立するための事業の検討を行う。
11	東金商工会議所 (千葉県)	【東金ブランド加工食品 開発・販売開拓事業】 平成26年春開業予定の産業交流拠点施設内の販売所で試験販売を目標に、東金市ブランド加工食品の開発を行う。あわせて情報発信、販路開拓に積極的に取り組む。

No.	事業実施者 (都道府県)	実施概要
12	小田原箱根商工会議所 (神奈川県)	【箱根ジオパーク認定に伴う観光客向け特産品開発の調査研究事業】 広域連携による観光客増加を目的に、箱根町・小田原市・湯河原町・真鶴町が24年秋に認定を受けた大地の公園「箱根ジオパーク」を切り口とした特産品開発の研究・開発に取り組む。
13	富士宮商工会議所 (静岡県)	【富士山の自然と世界文化遺産を巡るトレイルビジネスの創造】 地域の事業者が連携し、富士山麓の自然、歴史、暮らし、文化などの地域資源を活かし、歩いて巡る地域発の「トレイルビジネス」を興す。富士山トレイルを総合的にマネジメントするトレイルセンターを設立、ビジネス化と雇用機会を創出。
14	多治見商工会議所 (岐阜県)	【美濃焼ブランディングプロジェクト～産地を1つに繋ぐ物語づくり～】 美濃焼産地全体(13地区)に統一感ある世界観(ストーリー)を構築し、産地の魅力を明確化して「美濃焼製品のブランド価値向上」を図る。また、地域内に点在するギャラリーや直売所、美術館、作陶体験施設等を1つのストーリーで結んで観光開発につなげる。
15	東海商工会議所 (愛知県)	【地域活性化 特産品開発プロジェクト「東海市の新たな特産品を作れ！」】 東海市は「鉄とランのまち」と言われるが、「東海市と言えば〇〇」といった突出した特産品が乏しい。特産品を市民参加型により創出し、市のブランド化、農業・商業の振興を目指す。
16	上野商工会議所 (三重県)	【伊賀秘蔵の街の魅力掘り起こし ～新ビジネスへの展開～】 歴史ある建物や老舗で構成される伊賀秘蔵の町並みの魅力を掘り起こし、地元から発する熱気や誇りを生み出す事業者・人々を増やしていく取り組みを進めることにより、新ビジネスの構築を図る。
17	亀山商工会議所 (三重県)	【地域のSTORYとSTREETを結びつけるヒストリーウォーキング推進調査事業】 亀山市は古代から交通の要衝で、街道、鉄道など「道」に関する歴史文化資産が多くあり、これらから形成させる歴史的な物語がある。地域のストーリーとストリートを結びつける「ヒストリーウォーキング」の創造調査。
18	京都商工会議所 (京都府)	【創造的文化産業のコラボレーションによる新商品等開発のための調査研究】 京都の伝統、文化等を種とした創造的で文化的な(クリエイティブ)産業のコラボレーションのための調査研究を行い、選定・ネットワーク化。商工会議所が仲介機能を発揮し、強みを持つ事業者間のコラボを促進、開発された試作品等を発表展示し市場性を調査する。
19	大阪商工会議所 (大阪府)	【大阪で「食」と「農」「漁」を結ぶ！”大都市型農商工連携”事業】 ①大阪の水産物を活かした観光事業開発と水産物ブランドPR、②飲食・宿泊業の自店オリジナルワインと包括ワインブランドの構築・普及の2事業の実施を念頭に、関連事業者や市民・消費者に対し地元食材への意識や事業ニーズを調査する。
20	三木商工会議所 (兵庫県)	【ウッドカヌー・アトリエ・ビレッジ・プロジェクト】 金物の街三木の地域資源である「道具」を使用し、ウッドカヌーを製作する時空間と環境を三木の新たな観光産業として育む。
21	三原商工会議所 (広島県)	【瀬戸内三原・港町 立ち寄りグルメ開発プロジェクト】 瀬戸内海の景観やタコ等海産物とスイーツを組み合わせ、アクセスの優位性を活かし、近隣の有名観光地と連携した、立ち寄りグルメ(ブランド、セットプラン、観光ルート)の開発を行い、全国からの観光誘客を図る。
22	府中商工会議所 (広島県)	【府中味噌の新商品開発と体験型工場見学の調査研究】 新商品開発を地域の企業と専門家や他の地域資源と連携して行い、歴史ある府中味噌をブランドして確立する。
23	萩商工会議所 (山口県)	【めざせ！萩魚食王国建国への道】 これまで蓄積された水産関連資源を活かした観光地づくりに取り組むため、旅行者側の視点から再評価する。また他地域と差別化するため、萩の魚の成分分析データ等徹底的な情報収集を実施してテキスト化する。

No.	事業実施者 (都道府県)	実施概要
24	福岡商工会議所 (福岡県)	<p>【レトロな『吉塚市場』魅力アップ観光化事業】</p> <p>福岡市の中でも、昭和の町並み、空間が残っている場所は少ないが、吉塚商店街は、歴史ある商店街の建物風景がほぼ完全に残っている。また、昔ながらの伝統を引き継ぐ人情味あふれる商店の魅力もあり、ハードとソフトの両面を合わせての観光地化のための調査研究を行う。また、近隣の地域観光資源と組み合わせることで博多部の観光コースを創出。</p>
25	北九州商工会議所 (福岡県)	<p>【黄金市場オリジナルブランド商品開発】</p> <p>黄金商店街のブランド構築を図るとともに、ブランドを反映した商店街オリジナルのブランド商品の開発を目指す。</p>
26	竹田商工会議所 (大分県)	<p>【岡城・城下町 歴史まちづくり創出事業】</p> <p>岡城、城下町、八幡山を歴史・文化など共通イメージで繋いだ観光コース・商品化を模索する。また、ガイドの育成や住民活動と市民レベルでの事業参画を進める。</p>
27	指宿商工会議所 (鹿児島県)	<p>【『美プロジェクト』による第6次産業化プロジェクト】</p> <p>農業・商業・観光業・市民が連携した「美プロジェクト」による第6次産業化プロジェクト。観光客、来街者を商店街へ回遊させる仕組み、地元農産物、海産物を活用した特産品、土産物、グルメの開発の具体的方策を策定する。</p>

平成25年度「地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト」  
 本体事業1年目 採択案件一覧(商工会議所分)

No.	事業実施者 (都道府県)	実施概要
1	滝川商工会議所 (北海道)	【肥沃な大地がギュッと詰まったシードル&キッシュ&ガレット事業】 地域の農畜産物を使ったシードル・キッシュ・ガレットの開発により、農商工連携を図るとともに、食の魅力を高め、観光振興につなげる。また、市内飲食店の参画により中心市街地の活性化を図る。
2	稚内商工会議所 (北海道)	【映画「北のカナリアたち」などのロケ地を活用した誘客事業】 強力な観光宣伝ツールとなった映画「北のカナリアたち」を地域資源と捉え、周辺4市町が広域連携の下、他の地域資源と組合せた各種誘客促進事業を展開検証し、新たな観光開発により、地域経済の活性化を志向する。
3	須賀川商工会議所 (福島県)	【須賀川版「震災復興ツーリズム」開発プロジェクト】 須賀川ならではの震災経験知を活用した震災関連視察プログラム、震災教育支援プログラムを開発し、国内の防災・減災に寄与するとともに産業振興、地域活性化に結びつけることを目指す。
4	燕商工会議所 (新潟県)	【自動車・家電部品サプライヤーによる自社商品の開発】 自動車部品や家電部品、機械部品などの下請け企業が自社製品を開発し、販路開拓をする。
5	糸魚川商工会議所 (新潟県)	【パワー充電の女子旅「ヒーリングスポット・ヒスイの聖地 糸魚川」】 日本におけるヒスイ文化発祥地であるヒスイの産地・糸魚川において、その効能やイメージを活用した「ヒーリングスポット・ヒスイの聖地糸魚川」のブランドイメージを確立し誘客を促進する。
6	高岡商工会議所 (富山県)	【北前船ゆかりの地「食のブランド”高岡昆布百選”プロジェクト」】 高岡市における観光魅力の向上の一環として、高岡の歴史、風土、食材等を踏まえた「歴史都市高岡」にふさわしい商品を開発・提供し、広く全国発信しながら、交流人口の増加や滞在時間の延長、地域の活性化を目指す。
7	珠洲商工会議所 (石川県)	【アートコミュニケーションプロジェクトin奥能登珠洲】 観光客も参加した創作活動による新しい価値観を地域にもたらしていくことで、地域の活力をよみがえらせ、観光誘客施策とする。また、農業の後継者不足、高齢化、過疎化、失われていく里山などの問題解決の糸口を模索する。
8	上田商工会議所 (長野県)	【新しい上田観光スタイル確立のための情報接触事業】 「観光客の皆様が新しい上田の観光を作っている！」という観点に立ち、本当に必要な観光・地域情報をHP、スマホ等を活用して発信し、自分自身で上田の旅を自由にカスタマイズする仕組みを構築する。
9	諏訪商工会議所 (長野県)	【スワサイクルオアシスを核とした産業連携プロジェクト】 昨年の調査事業で得られたデータを基に諏訪地域がより自転車を核に活性化が図れるよう、パッケージ商品開発や自転車関連製品の研究開発および試作を行う。
10	下諏訪商工会議所 (長野県)	【匠の技を活かした『商店街観光』】 ものづくり工房を中心として体験メニューの構築や、都市部での自主展示会等による地域力の発信を目指し、個店のファン獲得、町のファン獲得により集客と観光交流人口の増加を目指し、地域への経済波及効果につなげる。
11	佐久商工会議所 (長野県)	【「佐久こだわりの逸品でつくる高級土産商品開発」】 平成24年度の調査研究事業に基づき、地域資源同士を使った「発酵食品」の開発と、地元牧場の山羊乳やライ麦を使った健康志向食品、その他川魚等を使った販路拡大のための商品開発に取り組む。

No.	事業実施者 (都道府県)	実施概要
12	佐野商工会議所 (栃木県)	【郷土の偉人田中正造を資源とした着地型観光商品の開発事業】 平成24年度の調査研究事業の成果をもとに、郷土の偉人田中正造を地域資源とした着地型観光を開発するとともに、モニターツアーを通じて関連する旅行商品の開発を行う。
13	桐生商工会議所 (群馬県)	【技と芸術が織成す生活空間「Room of KIRYU」開発プロジェクト】 繊維技術をはじめとするモノづくり技術とデザイン感性を融合させた商品をコーディネートすることで「部屋(Room of KIRYU)」という生活空間を創造し、桐生独自のライフスタイル提案とリーディングモデルを見出す。
14	川口商工会議所 (埼玉県)	【川口『竹(たけ)・技(わざ)』魅力創出プロジェクト】 産業都市としての基盤とブランドを守り高めるため、川口市の代表的地場産業である「川口和竿(竹釣竿)」の新たな魅力創出を通じて、本市内外における評価(イメージ)の向上と釣竿工業の再生を図る。
15	佐原商工会議所 (千葉県)	【江戸優り佐原の地域経済活性化事業】 江戸優り佐原に伝わる匠の技と農産物を活用した商品開発。江戸優り佐原の匠の技と農村文化を融合した旅行商品の開発。
16	横須賀商工会議所 (神奈川県)	【「すかたび」パッケージ開発プロジェクト】 「すかたび」という新たな旅行(観光)事業のモデルによって、地域住民の横須賀に対する愛着と誇りをさらに高め、その思いをもって市外顧客を友人のようにおもてなしする状況を生み出す。
17	小田原箱根商工会議所 (神奈川県)	【「おだわらスイーツ プレミアム」ブランドの商品開発事業】 小田原の新たな魅力の創出を目的に、農業資源(果物・野菜)を実力のあるパティシエのアドバイスを得て加工し、工芸品と組み合わせることにより付加価値を高めたスイーツについて研究・開発を行い、観光資源の多様化を図る。
18	静岡商工会議所 (静岡県)	【家康公が築いたブランドを取り戻す「余ハ此處ニ居ル」プロジェクト】 家康公が息づくまち・静岡市のブランドを確立するため、家康公に関する歴史と文化的蓄積などの地域資源をストーリー化し、家康公を体験できるツアーの開発や特産品の開発を行い静岡市への観光誘客をめざす。
19	下田商工会議所 (静岡県)	【写真の祖 下岡蓮杖プロジェクト“黒船来航から文明開化まで”】 調査研究事業によって得られた下岡蓮杖翁の足跡を踏まえ、同氏を「蓮じい」というキャラクター化し全国にアピール。下田市を写真の聖地化し、観光地としての再生、再発見を実現する。
20	袋井商工会議所 (静岡県)	【袋井のクラウンメロンをベースにしたスポーツ健康飲料の開発】 1. 注目の水素水とクラウンメロンに多く含有されているGABAを組み合わせでのスポーツ健康飲料開発を目指す。 2. 東日本大震災の復興支援で交流ができた釜石市との事業連携を目指す。
21	大垣商工会議所 (岐阜県)	【美濃路・中山道を活用した西美濃街道観光事業】 西美濃地域の交流人口拡大をはかるため、美濃路および中山道を活用し、当地域の街道観光をPRするとともに、宿場町周辺を散策する観光コースを作成し、あわせて「街道まち歩き」のイベントを開催する。
22	高山商工会議所 (岐阜県)	【「飛騨の匠」ブランドを活用した体験型観光開発事業】 「飛騨の匠」関連資源の新たな価値・魅力の創出により、町並滞留時間や宿泊数の増加を促進するとともに観光客の現地消費金額を拡大することで、観光事業者のみならず伝統工芸産業団体や町並の活性化を図る。
23	一宮商工会議所 (愛知県)	【一宮コスチュームタウンプロジェクト】 一宮市が長年培ってきた繊維に関するノウハウを地域資源と捉え、サブカルチャーの一つであるコスプレに着目し、当市を仮装衣装の製作と交流機能を持った都市として全国発信する。

No.	事業実施者 (都道府県)	実施概要
24	蒲郡商工会議所 (愛知県)	【魚食系グルメ開発とロケ誘致～6次産業化でまちを売り出せ！】 “食”“観光(個性ある地域)”と素材に恵まれた海辺の観光都市“蒲郡”において、新たな観光客誘致の起爆剤となる6次産業化活動による「ご当地グルメの開発」を通じた地域活性化に取り組む。
25	伊勢商工会議所 (三重県)	【外宮・内宮の間にある「宮めぐりを物語でつなぐ」プロジェクト】 通過型の観光から地域を周遊する観光となるよう中心市街地への観光客数を増やし、経済効果が生じるエリアの拡大、ひいては地域活性化を図る。
26	松阪商工会議所 (三重県)	【旨い肉の宝庫 松阪を松阪肉三昧(松阪牛、松阪豚、松阪の鶏)で実現プロジェクト】 当市は松阪牛以外に松阪豚、養鶏が盛んで、焼肉店の集積は極めて高い。松阪牛と関連商品は、観光面でも地域経済の主軸である。その強みを最大限に活かし、畜産から加工、販売、飲食までの価値連鎖を実現。
27	熊野商工会議所 (三重県)	【熊野ブランドプロモーション事業】 伝統産業である漁業の低迷等、厳しい環境にある本市において、豊富な地域資源を活かした、新たなブランド価値の高い商品を創出する。2次・3次産業をも巻き込む取り組みとすることで、幅広い経済活動の波及を創造する。
28	小浜商工会議所 (福井県)	【若狭小浜の“わかさ”よみがえりグルメ&観光発信プロジェクト】 健康・アンチエイジングをテーマとした特産品「若狭御膳」や、繰り返し訪れたい観光コンテンツを開発して交流人口の増加を目指すとともに、事業継続性を実現する人材育成および組織作りを合わせて実施する。
29	山口商工会議所 (山口県)	【「アエル、ヤマグチ」ブランド開発推進事業】 共通のブランドイメージ「アエル、ヤマグチ」のコンセプトに合わせて、4市(山口、岩国、防府、宇部)の得意とする地域資源を活かした「マイ旅(=地旅)」を開発し、来訪者向けに情報発信する。
30	西条商工会議所 (愛媛県)	【西日本最高峰「石鎚山」～「つなぐ」「繋がる」くさりプロジェクト】 交流人口および現地消費金額の拡大を実現するために、西日本最高峰「石鎚山」を活用し、登山客や観光客を市街地へ回遊・滞在時間の増加を図る新たな仕掛けを開発する。
31	八女商工会議所 (福岡県)	【猪肉の熟成技術の確立と加工食品の開発】 農産物の豊富な里山で育った天然イノシシの高付加価値化を図り、猪肉を利用した熟成肉、加工品等の商品化を行うと共に、地域の農業、商工業等各分野が連携しての八女の新たな名物「八女ジビエ」の全国展開を行う。
32	有田商工会議所 (佐賀県)	【日本磁器誕生・有田焼創業400年記念事業イベント】 日本磁器誕生の地、そして日本近世産業発祥の地、有田は、2016年に創業400年を迎えるにあたり、新有田焼の開発と展示会を行い、有田焼ブランド確立を図ることを目標とする。

平成25年度「地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト」  
 本体事業2年目 採択案件一覧(商工会議所分)

No.	事業実施者 (都道府県)	実施概要
1	札幌商工会議所 (北海道)	【ホワイトコスメ・エステによる観光商品開発事業】 ホワイトエステを活用した観光ツアーの商品化に向け、モニターツアーの改良と実施、ツアーPR、ホワイトエステに使用するコスメの改良、無料体験を含むマーケティングを行う。
2	網走商工会議所 (北海道)	【網走旬ツーリズム創出事業】 調査研究事業および本体1年目事業より得られた結果を反映し、網走旬ツーリズム各種ツアーメニューの確立を目指す取り組みを行う。網走旬ツーリズムの継続的な事業運営のために事業体を設立する。
3	酒田商工会議所 (山形県)	【「傘福」「食」「まちあるき」による着地型観光開発プロジェクト】 1. 地域資源を活用した企画商品のモニターツアーを通じたブラッシュアップ 2. 着地型旅行商品の実施主体の確立 3. 複数の「まちあるき」メニューによる地域資源の再認識
4	黒部商工会議所 (富山県)	【「黒部のおくりもの」開発・販売プロジェクト】 黒部峡谷、生地の水産、湧水を活かし「黒部の物語」を織り込んだ観光土産品の開発を行い、平成27年3月の北陸新幹線開業をチャンスに「黒部のおくりもの」を販売する。
5	小松商工会議所 (石川県)	【地域ぐるみ・地域力総活用、新名産・名品創出と食の祭典開催事業】 農商工連携で農産物等地域資源活用の新名産・名品の創出と、前年度試作開発した商品の改良・ブラッシュアップを図り、商品力・完成度を高め市外・県外へ向けての販路開拓・消費拡大の基盤形成を図る。
6	上田商工会議所 (長野県)	【カイコと繭と紬のまち、上田地域伝統産業活性化プロジェクト事業】 地域の伝統産業である上田紬を先端技術によりリニューアルし、新たなビジネススキームを構築すると共に、地域に眠る潜在的な養蚕業を復活させることにより、農商工連携による地域ブランドの確立を図る。
7	松本商工会議所 (長野県)	【EVを活用した新たな観光ビジネスモデル推進事業】 松本市は松本駅を中心に西に上高地・乗鞍高原、東に美ヶ原高原を有する全国でも有数の観光地である。そこで、「環境配慮型観光」を推進するため新たな交通手段と観光ツールとしてEVを活用した観光モデルを展開する。
8	岡谷商工会議所 (長野県)	【医聖永田徳本先生に学ぶ新しい健康産業『徳本薬草のまち岡谷』】 徳本先生が世の為人の為に生き抜いた混迷の戦国時代。薬草の大家でありながら、伝承に纏わるその人柄を学ぶことにより、新たな健康産業(薬草による6次産業)を展開し、産業の活性化・雇用の創出を目指す。
9	下諏訪商工会議所 (長野県)	【中山道下諏訪宿「神宿る下諏訪温泉漫遊記」】 23年度の調査事業、24年度の本体事業1年目を踏まえ、継続的な地域資源の発掘と併せて発地での情報発信。さらには、事業者の自主提案を主体とする観光客の受入体制の構築を目指す。
10	飯山商工会議所 (長野県)	【峠の合戦食開発プロジェクト事業】 飯山の歴史文化が育んだ富倉そば・笹ずしを地域資源とし、北陸新幹線飯山駅開業に向けたお土産やお弁当での活用を研究。また、飯山駅を拠点とした広域観光プラン研究や戦略的な地域間交流による地域経済の底上げを図る。
11	富士吉田商工会議所 (山梨県)	【富士山駅・富士信仰を活用した観光施策(サービス)開発事業】 年間1,800万人を超える観光客が訪れる日本有数の国際観光地である富士山・富士五湖地域の中心都市である富士吉田市の富士山駅と地域の資源である歴史・文化、自然環境等を活用した富士山観光の拠点づくりを図る。

No.	事業実施者 (都道府県)	実施概要
12	安城商工会議所 (愛知県)	【「願いごとが叶うまち」ブランド化プロジェクト】 地域資源の「願いごと」をブランド化し、観光客増加による経済効果等の活性化につなげるため、願掛けグッズ&グルメの開発とパワースポットを活かした観光プランの確立に着手する。
13	四日市商工会議所 (三重県)	【“よっかいちおもてなしタクシー”事業化に向けての取り組み】 名称を変更した、おもてなしタクシー事業化に向け、ビジネス客を主にニーズ調査を実施。結果に基づき、商品開発を行う。また、ガイドは運転手の研修、既存の案内人の活用、ガイド本の充実など多方面より検討を行う。
14	鳥羽商工会議所 (三重県)	【島力を体得し “やまとたちばな、花酵母酒に酔う「御食国答志島」】 朝廷食料理を手軽にした御食弁当と珍しい花酵母酒に4つの力道を商品化、御食国答志島で全国発信、賑わいある答志島の再生を目指す。
15	大阪商工会議所 (大阪府)	【大阪市中央卸売市場を核とする、食と光のエンターテインメントプロジェクト】 全国の食が集う、大阪市中央卸売市場とその周辺地域の観光拠点化に向け、市場ならではの食と光が楽しめるエンターテインメント拠点“水辺の場外市場”をつくり、舟運等との連携によって相乗的な観光魅力を創出する。
16	松山商工会議所 (愛媛県)	【松山・広島 広域周遊観光ルート「瀬戸内海=海の道」開発事業】 24年度に開発し「しまなみ海道ルート」の改良プランとして「双方向性が確保された宿泊型商品」の検討を行う。更に、新たな魅力づくりとして港湾施設・港湾エリアの魅力を磨き上げし、サービス機能の向上を目指す。



平成25年度「地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト」  
調査研究事業 採択案件一覧(商工会議所分)追加募集

No.	事業実施者 (都道府県)	実施概要
1	酒田商工会議所 (山形県)	【「北前船交易で賑わった酒田」のおいしい土産品開発プロジェクト】 「北前船交易で賑わった酒田」および「傘福」をモチーフとした土産品お菓子開発の調査研究。
2	白河商工会議所 (福島県)	【「攻め」の農商工連携による地産地消・特産品開発白河再興プロジェクト】 白河再興プロジェクトとして、地元農産物の活用可能性について調査し、風評払拭と地産地消の推進による消費拡大および「売れる」特産品開発の面的な取り組みを目指す。
3	七尾商工会議所 (石川県)	【「能登ふぐ」を核とした七尾の食資源ブランド化に向けた調査研究事業】 北陸新幹線金沢開業を1年半後に控えた中で、首都圏へのアピールできる「能登ふぐ」等の食資源の調査でブランド化により、食を中心に地域事業所の売上向上を目指す。
4	神戸商工会議所 (兵庫県)	【有馬の温泉ブランド再構築のための調査事業〔仮題〕】 日本最古の温泉の歴史や世界的に稀有な有馬の温泉についての詳細な基礎資料を調査・作成し、ガイドブック制作や案内ガイド(湯守り)の養成方法等を検討することで、「有馬の温泉ブランド」の再構築(確立)を目指す。
5	小野商工会議所 (兵庫県)	【小野に恋して「おの恋」来いプロジェクト(略称:おの恋JP)】 県下最大の「おの恋おどり」の「おの恋」を地域資源とし、「恋のまち」として統一ブランドを確立。H26年オープン of 市民交流ホールを拠点に体験型周遊コースを立案。
6	那覇商工会議所 (沖縄県)	【琉球王朝時代から続く伝統ある繁多川豆腐を使った島豆腐麺の開発】 伝統ある繁多川島豆腐を活用したカロリーを抑えた健康麺の開発を行う事業の計画を作成し、事業性の検討を行う。販売先や各方面の商品開発の専門家と連携し、事業の可能性を最大限に引き出し、経済効果と雇用機会を創出する。

平成25年度「地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト」  
本体事業1年目 採択案件一覧(商工会議所分) 追加募集

No.	事業実施者 (都道府県)	実施概要
1	帯広商工会議所 (北海道)	【『銀の匙』とコラボした新たな観光事業「食育ツーリズム」の構築】 マンガ、アニメ、映画化で大ヒットしている「銀の匙」のストーリーとコラボして、十勝・帯広が持っている「食」のポテンシャルを活かし、食・体験型の「食育ツーリズム」を構築して、滞在する観光客を増加させていく。